

学年：1年 | 単元名：6. わかりやすく せいりしよう

1. 単元目標：(全3時間)

○ものの個数について簡単な絵や図に表す方法を理解し、データの個数を簡単な絵や図に表し、それらの特徴を読み取る力を養うとともに、簡単な絵や図を用いてデータの個数を表したり、捉えたりしたことを振り返り、日常生活に活用しようとする態度を養う。

考判表・落ちや重なりがないように分類整理の仕方を考える。
・目的をもって整理の仕方を考える。

知・技・ものの個数を種類ごとに分類整理して簡単な絵や図に表すことができる。
・落ちや重なりがないように資料を整理することができる。
・絵や図を見て、数値を読み取ることができる。

2. 指導内容

- ・
- ・

3. 指導のポイント

○分類整理
1. まず、何を目的に整理をするかを定める。
2. どんな表現にしたらいいかを定める。(絵や図)
3. 落ちや重なりがないように資料を整理する。
4. できた絵や図が、目的を達成していることを確かめる。
5. その他にもわかることを絵や図から読み取る。

4. 指導にあたって

①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開

第1時

学習のめあて(作業・知る・考える)

○わかりやすく絵や図に表そう。(P32/33)

場面設定
4つのうち1つだけ、あたりのいきものがあります。
あたりは、つりがおわったあとにいます。
あたりのいきものを おおくつったはんが ちです。

1. P32の釣りゲームの結果を見て、どんなことを知りたいか考える。

2. 「何が一番多いかを調べる方法を考える」ことに絞る。

3. 整理の仕方を考える。
・「いか・さかな・かに・たこ」に分けたらいい。
・落ちや重なりがないように数える方法を考える。
線を引いて消していく

4. 絵や図のかき方を知る。
・項目を決める。(種類)
・絵や図の大きさをそろえる。(横をそろえる)
・端をそろえる。

5. 教科書に書き込む。(P33)

※教科書は、「ばらばら→整理して並べる→表にかく」となっているが、「ばらばら→表にかく」でも可能だと思う。

第2時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○絵や図を見てわかったことを見つけよう。（P34）

1. 何が一番多いかを知ることができることを確認する。
 - ・「かに」が一番多い。
2. その他にもいろいろなことがわかることを知る。
 - ①P34の問題をする。
 - ②その他にもどんなことがわかるか発表する。

第3時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○2つのはんのけっかをくらべよう。（P34）

1. あたりは「かに」です。かったはんは、どちらですか。
 2. あたりは「たこ」です。かったはんは、どちらですか。
- ※いろいろな問題を作る。
「どちらがいくつ多い」という問題にしてもよい。